

日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史

NDAモード通信

一般社団法人 日本洋装協会
 事務局 〒113-0034
 東京都文京区湯島4-8-3-307
 TEL (03) 3814-7023
 FAX (03) 3814-7023
 発行人 中田 眞理
 編集人 三 祐 イツ子
 年3回発行 大日向 敬子
 速 藤 順子

発行所 一般社団法人 日本洋装協会

今年当協会発足七十年にあたる歳、皆様、それぞれの感慨を内に元旦を迎えられたことと存じます。

ただ齢七十といえは、同じく華を装う身ながら、染井吉野などもう晩年、樹勢衰え、彩りも褪せていきます。対するに当洋装協会、円熟を重ねつつ、

青丹よし寧楽の京師は咲く花の匂ふがごとく今盛りなり(万葉集)

を想わせる未だ青春。生きる力、纏う悦びを縫い籠めたオンリーワンを世の女性たちに贈りつづけています。

昨年は技能グランプリ、技能コンクール首位、各地区のフェアでの高い評価、



新春に寄せて

(社)日本洋装協会 顧問 早川 良躬

検定進級、国の褒章と、七十周年の前景気かとまごう豊年となりました。それらを通してどなたも皆、手のわざ、ならではの高揚感、自己実現の充足感に浸されたことと思います。ここに到るまでに、惜しみない励まし、支援を頂いた行政、諸団体、賛助会員の皆様にあつく御礼申し上げます。

今年七十周年記念事業に加え、東京都の音頭による匠の技の祭典も計画の由、若い方々には又とない機会、奮って参画し、先人のレガシー(遺産)を元手に、ものづくり振興に新たな一章を加えますよう願って止みません。

明けましておめでとうございます。洋装協会の皆様におかれましては、お揃いで、創立七十周年記念新年祝賀会をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて、日本は昨年異常気象により、各地で悲惨な被害を被りました。これも日本だけでなく世界的気候の変動によるのではないかと言われております。そのような中でファッション業界もかなりの影響が出たのではないかと案じております。しかし洋装協会は技能士の育成、技能の向上など基本的な活動に真摯に向き合う姿勢が



新年のご挨拶

(社)日本洋装協会名誉顧問 参議院議員 山東 昭子

見られ、敬意を表しております。どうぞ、これからも地域に密着したグローバルな事業で業界発展のためにご尽力を頂ければと思っております。

シェイクスピアの言葉に「財布の許す限り、身の回りにはお金をかけるがいい。と云って疑るのはいいが、華美は禁物。着るものによって人柄がわかるものだから」と言うフレーズがありますが、品格のあるファッションで益々協会の発展の為に活動なさることを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

(社)日本洋装協会 七十周年新年祝賀会

平成二十八年一月十五日(金)晴天に恵まれたこの日に中野サンプラザ、プロツサムの間において保坂三蔵名誉顧問はじめ関係官庁、各業界のご臨席を賜り盛大に行われました。

創立七十周年の節目の今年は役員に表彰状、名誉会員、賛助会員、支部会員に感謝状が贈られました。



新年祝賀会

REPORT No.47

都立大島高校の実技指導

(社)日本洋装協会会長 内野 靖子

昨年十一月十三・十四の二日間、厚生労働省委託事業である若年技能者育成ものづくりマイスターとして、都立大島高校にジャケットの実技指導に中田理事長と伺った。

竹芝橋からジェット船で二時間余り。岡田港に入港し、大島高校に向かった。島は二年前の台風で甚大な被害を受け、元町港周辺は閑散としていた。高校の金澤先生が迎えて下さり午後から授業を始めた。

講習内容は襟なし、パッチポケット付き、一枚袖のジャケットで被服製作検定一級の課題だった。生徒は十名、先生は二名で基礎技術の向上を図ることが目的だった。島には生地屋も付属品店もなく八時間半でジャケットを完成させる為にはパターンはもとより表、裏地の裁断、芯張り、印づけは事前におかないと無理と考え準備しておかされた。被服室は立派で裁断台、ミシン、ロツクは生徒に十分な用意されていた。

最初にジャケットの作業工程を説明し、パッチポケットの裏縫いから始め、サイドダーツ、ポケットの縫い付け方、そして肩を縫い合わせた。次に見返しに裏を付け、後ろ見頃も背縫いと袷見返しを付け、肩を入れドントンでフロントから袷回りを縫い脇を縫い合わせた。先生も生徒も熱心に説明を聞きミシンに向かっていたが、一年生には難しく手伝わないと進まなかった。特に奥まつり、星止めな



被服室

ど先生も知らなかったので丁寧に教えた。熱心な男の先生から「早く綺麗に作るには何か良い方法がありますか」との質問を受けた。それは「作業工程を理解し、アイロンの掛け方を順序よくすること」と説明をして実践して見せた。最後に中田さんからボタンホールの手がかりを實習し、二日間のハードな講習は終了した。

島は生徒数も少ないが、先生と生徒のコミュニケーションが素晴らしく、先生の生徒に対する気配りと思いやりに深く感動し帰路についた。

地区だより

神奈川地区代表 合田 陸子

神奈川地区では、平成二十七年八月二七日セブカルチャー厚木「古布deソーイング」というテーマで生徒作品を発表会を企画・実行致しました。この教室は、二年前始めたもので、本来、神奈川地区の「教師育成の場」にいいのではと思ってお引き受けしたものです。発表会当日は、作品提出、フィッター・受付・運搬等の仕事を引き受け、大成功に終わりました。



国家検定(婦人子供注文服製作) 一級合格者 木多美樹子(石川県)

国家検定(婦人子供注文服製作) 一級合格者 木多美樹子(石川県)

- http://nihonyoson.or.jp/
- 1月5日 関係官庁へ挨拶まわり 初顔合わせ
 - 1月12日 紳士服新年会 出席2名
 - 1月13・14日 職業訓練校技術フェア1 新宿西口イベント広場 新年祝賀会
 - 1月15日 創立70周年記念 中野サンプラザ11F
 - 1月19日 日本ファッションクリエイター協会新年会 京王プラザホテル 出席3名
 - 1月27日 全技連マイスター会 東京都支部会議 出席1名
 - 2月3日 東技連・東職能新年会 KK Rホテル 出席5名
 - 3月6・7日 異業種交流会 KK R鎌倉
 - 3月21日 初春のセミナー 洋服会館ジェントリイホール(市ヶ谷) 中野サンプラザ
 - 4月16日 第4回クチュールコレクション 中野サンプラザ
 - 5月14・15日 技術講習会 検定部 城東職業能力開発訓練センター(足立校)(綾瀬)
 - 5月22日 第61回 通常総会
 - 5月29・31日 70周年記念旅行in金沢

黄綬褒章受章を受章して



高橋 昌子 (東京都)

この度、平成二十七年秋の褒章に際し、黄綬褒章受章の栄に浴しました。これも偏に洋装協会の会長はじめ、諸先生方の長年に亘るご指導下さった皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。去る十一月十三日、厚生労働大臣より褒章の記・褒章の伝達を受け皇居に参内し、天皇陛下に拝謁の栄誉を賜り、身に余る光栄と感激しております。長年、ものづくり一筋六十年、注文服に仕立てに忙しい頃、洋装協会のコンクールに初めて出品し総理大臣賞を頂きました。平成六年に入会し一級技能士に合格、グランプリに出場し協会の理事副理事長の六年は毎日忙しく生き甲斐のある日々でした。今後は若い方達の技能育成、また洋裁教室では生徒に向けてものづくりの関心を広げ、技能向上の促進・匠の技を広め、日本の仕立職を育成したいと思っております。

卓越技能章 (現代の名工) 受章



稲荷田 征 (千葉県)

日本洋装協会の諸先生方には大変お世話になりました。心から感謝しております。(現代の名工)という賞がある事を知らされたのも協会の諸先生からでしたが、小生には関係がない賞と思っておりました。既製服分野からの挑戦をと、ある人からアドバイスを受けたのが10年前の事でした。全日本婦人子供服工業組合連合会の推薦を受け4回目の挑戦で受章となりました。小生は既製服量産分野で生産性を高める方法論や着心地・着やすい服のパターン設計、仕立て技術に伴う縫い糸やミシン糸張力の標準化機能素材に対応した縫製方法、新時代の溶着、接着による仕立て技能を確立し、新しい加工技能の伝承と後継者に積極的に取り込んでおります。既製服の秘術分野として受章できたことは、若い世代の技術者に刺激を与えて頑張ってもらえると思います。着心地・癒される服など、デザインと共に国内はもとより海外にメードインジヤパン・ジャパンクオリティを世界に発信し品質の良さをアピールして行きたいと思っております。今後皆様のご協力をお願いいたします。

全技連マイスター認定



石田きよみ (大分県)

洋裁好きに過ぎなかった私が日本洋装協会の会員に加えて頂きましてから11年余りが経ってしまいました。その間、諸先輩方のご指導の下に技能検定、グランプリ大会参加、コンクール作品の出品と挑戦してまいりましたが、その度に洋裁の奥深さと自らの未熟さを感じておりました。この度思いつかずマイスター認定を頂く事になりましたが、これまでのご指導を糧として今後もより一層の研鑽を積むと共に若い世代へ服づくりの楽しさを伝えていきたいと思います。

全技連マイスターに感謝



遠藤 順子 (茨城県)

全技連マイスターの認定を頂きまして大変ありがたく身に余る光栄に存じます。何となく始めた洋裁でしたが、洋服作りの楽しさを教えて頂き、技能検定、コンクール、グランプリと導いてくださりました先輩方に感謝いたします。微力ながらも先輩方に続き技能の伝承に努めて参りたいと考えております。これからも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

技能五輪全国大会 競技補佐員になって

三鈴イツ子 (埼玉県)

第53回技能五輪全国大会が平成27年12月4日〜7日まで幕張メッセ(千葉県)において開催されました。スポーツのオリンピックは有名ですが23歳以下の選手対象者が40の職種を競い日本一を決める大会です。県代表として選ばれた競技技能者が1200人、技能アスリートたちのチャレンジ精神に感動致しました。競技委員と競技補佐委員は二日前から会場入りしてアイロンやミシンの調子やボア、ライト等のセッティングなどをいたしました。4日の開会式を迎えるまで選手は会場の下見にきてはじめてお目にかかりました。洋裁部門の選手は19名です。開会式は幕張メッセイベントホールで行い、去年のプラジル、サンパウロ国際大会のメダリスト金、銀、銅、を合わせて日本は13個のメダルをとり優れた技能者が紹介されました。力強い大会選手宣誓が行われ5日から競技大会が始まりました。今年は競技エリアに定点カメラでライブ中継が配信されました。洋裁部門では金賞入賞は玉川愛実さん(山形県)に輝きました。



クラブ・ティープ ファッションショー開催

クラブ・ティープ (タカノ)

感謝をこめて：ファッションショー開催

この度クラブ・ティープ創立30周年を迎え、去年は第28回全国技能グランプリ大会において「金賞」を頂くこともできましたので、この成績を記念して仙台ロイヤルパークホテルに於いてファッションショーを開催することになりました。日本洋装協会の皆様のお力をお借りいたしまして盛大に厳粛に行う事が出来ました事を感謝申し上げます。

ファッションショーは私の長年の夢でもありましたが、もともとと先のことかと思っておりました。しかし久しぶりに恩師とお会いした時、私は何一つ恩返しをする事なく過ごしていた事に気が付き、これまでの集大成を見て頂きたく自分にも悔いを残さない様企画を立てました。企画の準備中にグランプリの出場のお話があり恩師の菅野先生に相談し、助言を頂いて出場を決意致しました。

幸い大会まで時間があつたのと、嬉しくもあつたので、わが身を奮い立たせ全力投球で練習し、全国グランプリ大会の千葉幕張の会場へ向うきました。私には常に見守ってくれる恩師がいるかと思うと心の余裕が湧いてきました。今回のファッション



日本洋装協会の皆様

創立70周年の記念行事として「五感で感じる金沢・加賀体験旅行」を企画しております。奮ってご参加ください。日時 平成28年5月29日(祝) 2泊3日 費用 5万円位(交通費昼食別途)後日ご案内申し上げます。

2016 初春のセミナー

日時 平成28年3月21日(祝) 13時30分〜16時30分 場所 東京洋服会館 ジェントリーホール3F 講習会テーマ 「織物の魔術師」この道40年のすこわざ 講師 文化ファッション大学院大学教授 宮本英治氏 会費 会員 4000円 一般 5000円 講習会のおと洋裁関係者による布地販売を致します。詳細は後日お知らせします。申し込み・問い合わせ 教育部 日比迄 03(5490)0099

平成28年度前期技能検定 婦人子供注文服製作一級二級

実施公示 3月上旬 受験申請受付 4月上旬〜中旬 実技試験 6月中旬〜9月中旬 学科試験 7月末〜9月上旬

検定部の講習会のお知らせ

検定にも実践にも役立つテーマ コースI(毛芯立てのテーラードジャケット) コースII(オーブンカラーのブラウス) 場所 城東職業開発訓練センター(綾瀬) 日時 平成28年5月14・15日 申し込み・問い合わせ 検定部 白井迄 042(364)3946 申込みの方には後日ご案内をお送り致します。

職業訓練校技術フェア

広報部

平成28年1月13・14日の二日間に氷点下という寒い日に開催されました。手作り小物や洋服の販売を中心に致しましたが寒い冬は試着してくれるお客様も少なく、やはり手づくりの物をもう少し増やせばよかったかと思われました。実演は白井富美子氏の「大判シヨール・スカーフから作るマントのパリエーション」でした。石田さんを助手にシヨールやスカーフをリメイクしておしゃれなアイテム、6点を実演してくれました。展示は廣谷中田、伊賀、合田でした。



実演する白井さん